



Personal solutions
for everyday life.

糖尿病と上手につきあうために
—糖尿病を正しく知る—

Section 2

検査と診断

監修: 東京女子医科大学 糖尿病センター
センター長 内潟 安子

Index

- ポイント
- 検査の種類
- 糖尿病を診断するための検査
- 「糖尿病型」の判定
- 空腹時血糖値および75g糖負荷試験(OGTT)
2時間値の判定基準(静脈血漿値)
- 糖尿病における成因(発症機序)と病態(病期)
- 糖尿病と診断されるまでの流れ
- 糖尿病の状態を調べるための主な検査
- 合併症を調べるための主な検査

ポイント

- **糖尿病の確定診断は血糖検査によって行います。**
空腹時血糖値、75g糖負荷試験(OGTT)の2時間値、
随時血糖値、HbA1c(グリコヘモグロビン)値を測定
- **血糖値とHbA1c値がともに「糖尿病型」の場合は「糖尿病」と診断されます。**
- **血糖値のみ「糖尿病型」の場合は
下記の症状があれば「糖尿病」と診断されます。
ない場合は1ヵ月以内に再検査を行います。**
・糖尿病の典型的症状 ・確実な糖尿病網膜症 のいずれか
- **HbA1cのみ「糖尿病型」の場合は
1ヵ月以内に血糖検査とあわせて再検査を行います。**

糖尿病型 血糖値:空腹時 $\geq 126\text{mg/dL}$,OGTT2時間値 $\geq 200\text{mg/dL}$,随時血糖値 $\geq 200\text{mg/dL}$ のいずれか
HbA1c(NGSP) $\geq 6.5\%$

ポイント

● 糖尿病の状態を調べるための主な検査

HbA1c値、グリコアルブミン、1.5AG・・・平均血糖値を反映する指標

HOMA-R・・・・・・・・・・・・・インスリン抵抗性

● 合併症を調べるための主な検査

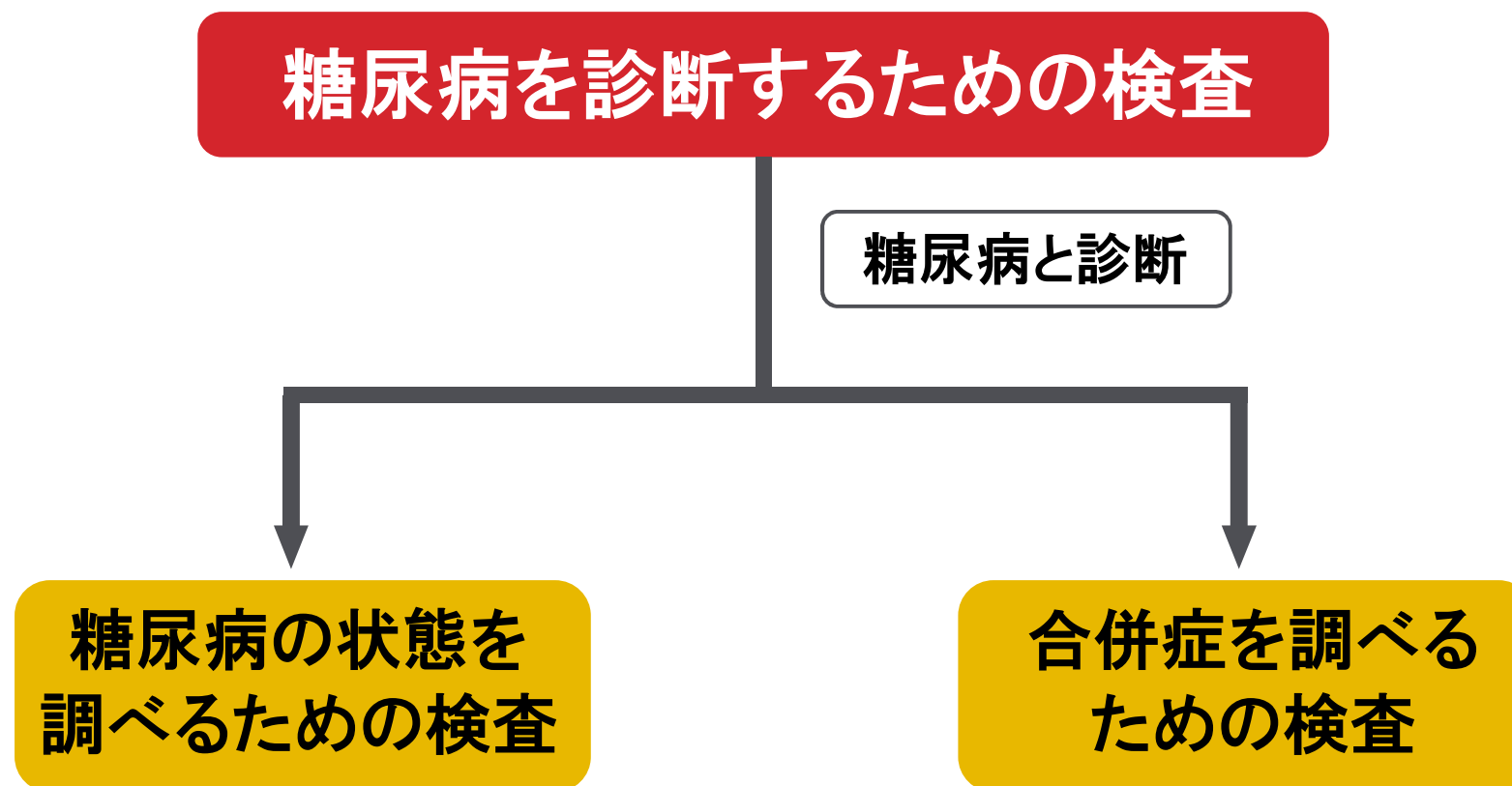
眼底検査・・・・・・・・・・・・・糖尿病網膜症

尿蛋白検査、微量アルブミン尿検査・・・糖尿病腎症

腱反射、知覚検査・・・・・・・・・・・・・糖尿病神経障害

心電図、冠動脈造影、脳CT・MRI・・・冠動脈疾患、脳血管障害

検査の種類



糖尿病を診断するための検査

糖尿病の確定診断は血糖検査によって行います。

- **空腹時血糖値：**

前日の夕食をとった後、何も食べず翌朝検査した血糖値

- **75g糖負荷試験(OGTT)2時間値：**

最低10時間絶食した空腹の状態ですす採血し、次に75gのブドウ糖液あるいはそれに相当する糖質を飲み、その2時間後に測定した血糖値

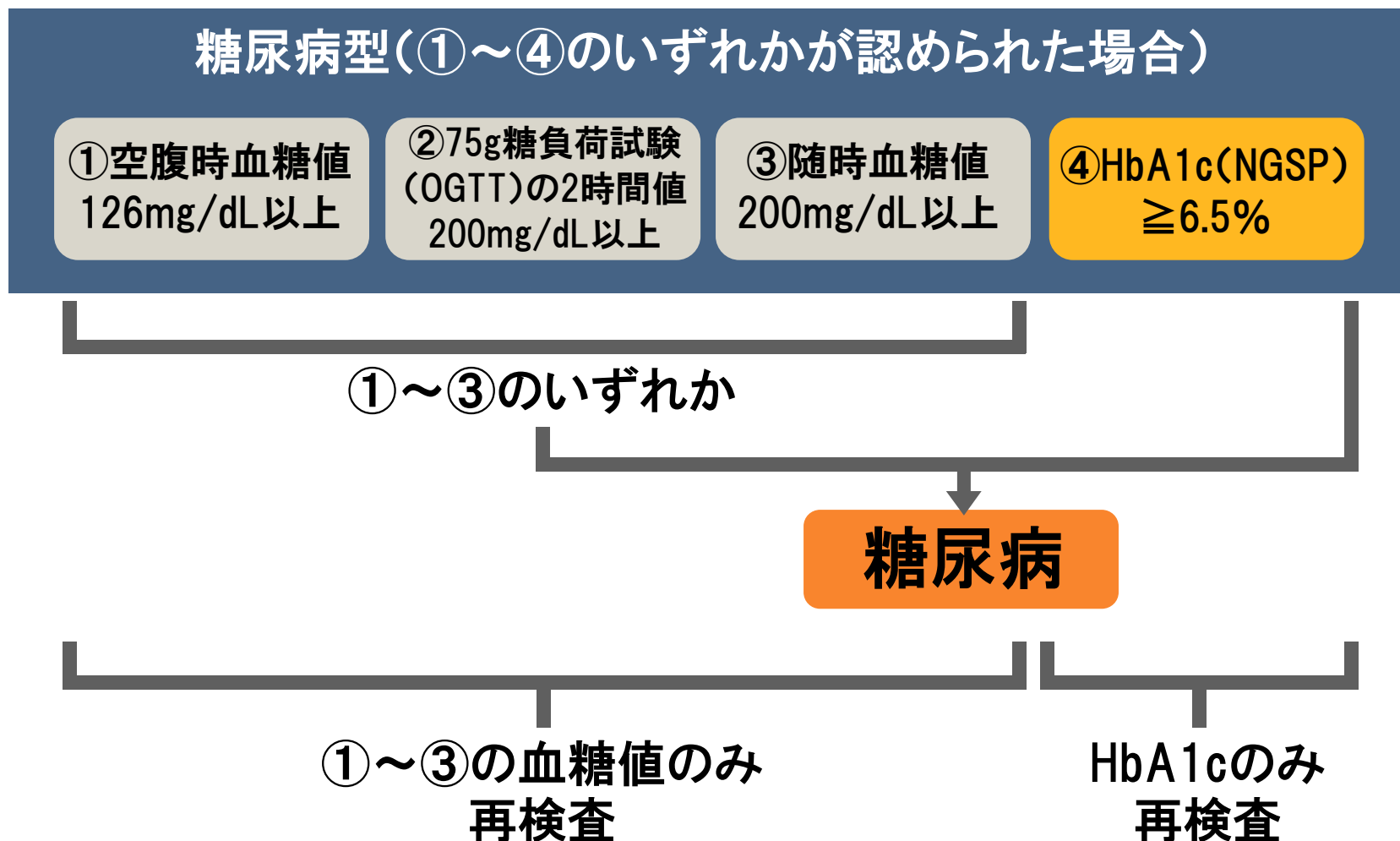
- **随時血糖値：**

食事の影響を考えずに測定した血糖値

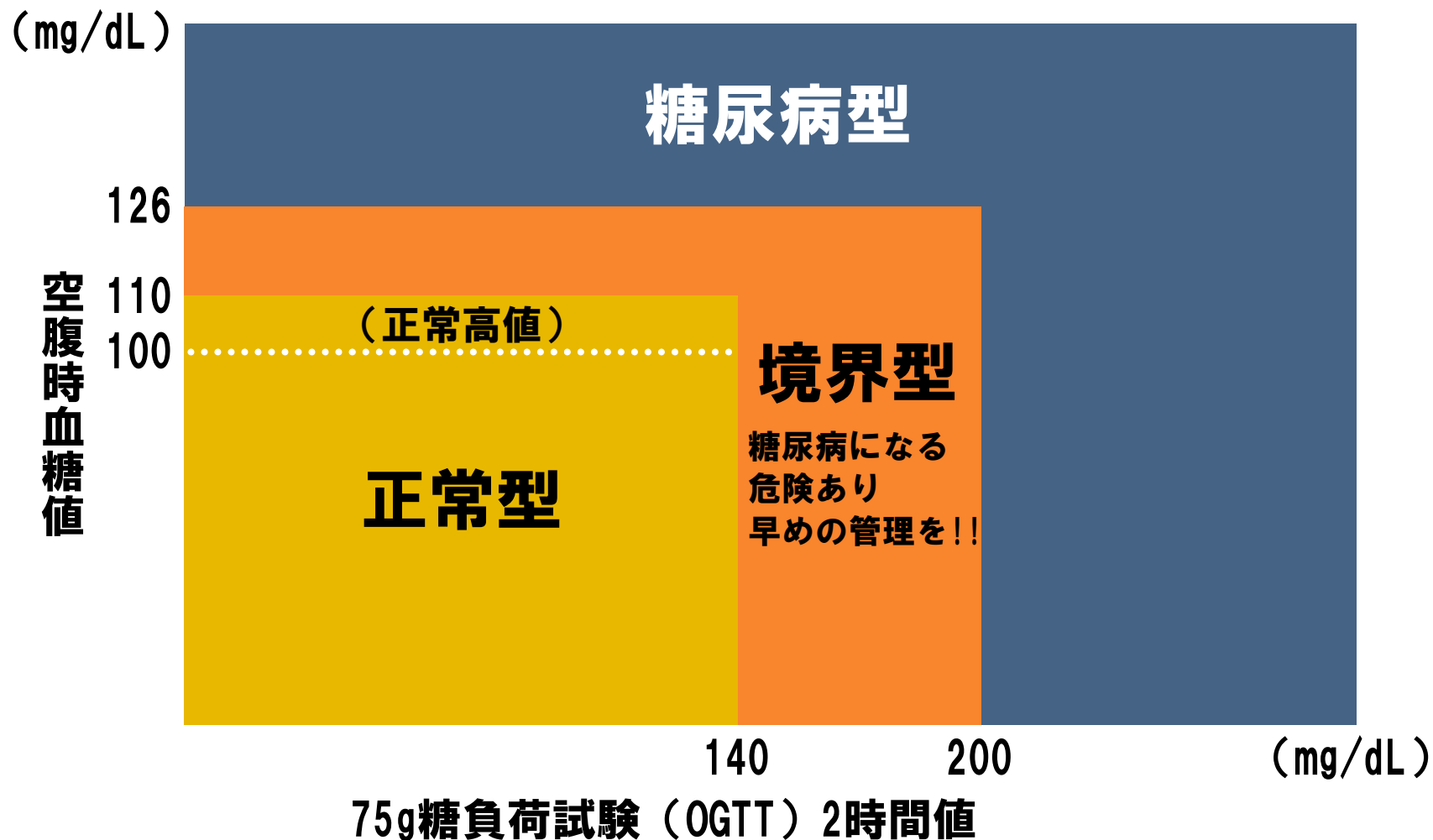
- **HbA1c(グリコヘモグロビン)値：**

血液中のヘモグロビンA1c(グリコヘモグロビンの一種)の値
過去1~2カ月の血糖コントロールの良否

「糖尿病型」の判定



空腹時血糖値および75g糖負荷試験(OGTT) 2時間値の判定基準(静脈血漿値)



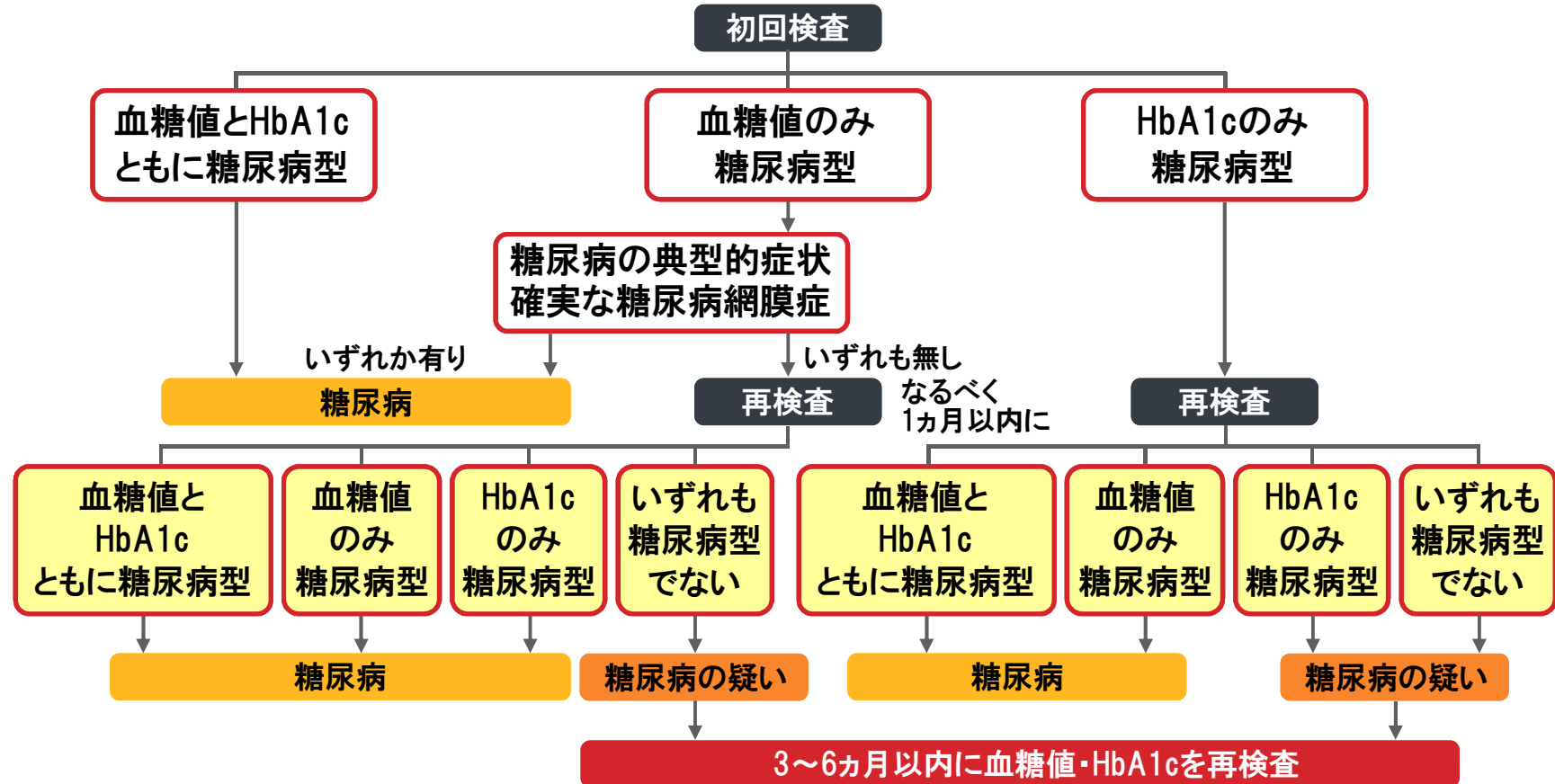
糖尿病における成因(発症機序)と病態(病期)

病態 (病期) 成因 (機序)	正常血糖		高血糖		
	正常領域	境界領域	糖尿病領域		
			インスリン非依存状態		インスリン依存状態
			インスリン 不要	高血糖是正 に必要	生存に 必要
1型					
2型					
その他 特定の型					

図右への移動 は糖代謝異常の悪化(糖尿病の発症を含む)、図左への移動 は糖代謝異常の改善を示す。 の部分は「糖尿病」と呼ぶ状態を示し、頻度が少ない病態(病期)は破線 で示している。

糖尿病と診断されるまでの流れ

糖尿病型 血糖値：空腹時 $\geq 126\text{mg/dL}$, OGTT2時間値 $\geq 200\text{mg/dL}$, 随時血糖値 $\geq 200\text{mg/dL}$ のいずれか
HbA1c(NGSP) $\geq 6.5\%$



糖尿病の状態を調べるための主な検査

●C-ペプチド検査

血中または尿中のC-ペプチドの量を調べます。

膵臓からのインスリンの分泌状態を知ることができます。

合併症を調べるための主な検査

糖尿病網膜症を調べる

➡ 眼底検査

糖尿病腎症を調べる

➡ 尿蛋白検査
微量アルブミン
尿検査など

糖尿病神経障害を調べる

➡ 腱反射
知覚検査など

心筋梗塞、狭心症を調べる ➡ 心電図など